

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	石川県	事業実施主体	能登町	地域再生計画名	「いいこといっぱい夢ある能登町」再生計画
計画期間	平成27年度～令和元年度	評価責任者	石川県農林水産部森林管理課森林資源育成GL 小島 秀 博、能登町建設水道課長 兄後 修一 能登町農林水産課長 五田 秀綱		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	H年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	道路ネットワーク改善による住環境改善に伴う転入人口の増加転入人口数	320人	H17～H25までの平均	370人	H29	440人	390人	R元	430人	○	3	3	効率的に道路の整備を推進することに併せ、魅力的なまちづくりを推進する活動を実施することで目標値を達成できた。
	指標2	林業振興による森林の機能保全間伐面積の向上	9ha	H26	13ha	H29	51ha	16ha	R元	76ha	○	3	3	林道整備と町道整備を一体的に行い、森林整備の利便性向上が図られたことにより、目標値を達成できた。
	指標3	農林業宿泊体験施設におけるグリーン・ツーリズム体験者数の増加 農林業宿泊体験施設利用者数	700人	H26	820人	H29	10,641人	900人	R元	3990人	○			町道と林道の一体的な道路ネットワーク網が形成され、体験施設が位置する「春風の里」の活況と相俟って、町内外の交流人口の増加が図られたことにより目標値を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度(H30)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	17.98km	7.60km	13.16km	今回の計画では整備量が当初予定の7割となっているが、主要施設へのアクセス道路などを集中的に整備することで効率的な道路ネットワークの構築が促進され、目標値についてはすべて達成することができた。残りの整備区間についても引き続き事業を実施していきたい。
	林道整備事業（整備延長）	1.5km	0.92km	1.2km	林道整備により今まで林業振興が困難だった地域について、アクセス改善が図られたことにより、開伐実施面積の増が図られた。引き続き事業を行うことで、さらなる改善を図りたい。
その他の事業					
計画外で独自に実施した事業	公益信託能登町エンデバフンド21	住民主体の魅力的なまちづくりを推進するため、環境保全等まちづくり活動の調査企画・活動・交流会等に対して、取り組み団体等に助成			まちづくり活動に取り組むグループ等に対し、その企画内容に応じて助成を行うことで、地域の振興やまちづくり活動の活性化が図られたことにより、転入人口やグリーン・ツーリズム体験者数増加に寄与している。
	過疎地域自立促進市町村計画	過疎地域に指定された市町村が、地域の自立促進を図るため必要な事業計画を策定し、国の承認後、目的達成のための事業を行うための計画			平成28年度から10年間の長期的展望に立つ総合的なまちづくりの指針となる第二次総合計画との整合性を重視し、町の基本目標「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来（あす）へつなぐまちづくり」を目標に、地域の自立促進のための施策を総合的かつ計画的に進めていることで、転入人口の増加や林業の振興に寄与している。
	能登町里山「木の駅」プロジェクト	放置材や間伐材などを地域通貨で買い取り、森林整備と地域活性化を目指す事業			地域にある間伐材や林地残材といった有効活用されていない森林資源を、山林所有者や森林ボランティアが「木の駅」に出荷し、地域通貨を対価として得ることで、森づくりと地域活性化を図っていることが、間伐面積の向上につながったと考えられる。
	ふるさと定住住宅助成金	U・Iターン者の住宅新築、中古住宅の改築費用の一部を助成し定住促進を図る			能登町への移住・定住を促進し、地域の活性化を図るため、Uターン、Iターン者の新築住宅及び中古住宅等の改築に要する経費の一部を助成していることが、転入人口を増加させる要因となったと考えられる。
	能登町まちづくり合宿等助成金	交流人口の拡大と活性化を図るため、町内の宿泊施設を利用する学生の団体に対して、助成を行う			交流人口の拡大を図り、地域の活性化に資することを目的に、町内の宿泊施設を利用し、一定期間以上町内に滞在する学生の団体に対し、助成金を交付することで、地域再生につながっている。農家民宿を利用する団体にも助成されており、農林業宿泊体験施設利用者数増加の要因となったと考えられる。

④評価方法	道整備評価検討グループ会議を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。
⑤事後評価の公表方法	石川県及び能登町のホームページに掲載。
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用して基幹町道の集中整備や林道の整備を一体的に実施することにより、効率的な道路ネットワークの構築が図られた。さらにそれら事業に併せてふるさと定住住宅助成および能登町まちづくり合宿等助成などの事業を行った結果、観光・交流人口が増加したことに伴い、転入人口やグリーン・ツーリズム体験者数が増加し林業振興及び森林整備の促進が図られた。
⑦今後の方針等	本計画では町道と林道を効率的に整備したことで、アクセス改善や森林整備事業が促進され、関連する町独自の事業にも取り組んだ結果、転入人口の増加、森林間伐面積の向上に繋がったと考えられる。今後はさらなる道路ネットワーク網の構築を促進するとともに、ふるさと定住やまちづくりのための様々な取り組みを継続して行くことで更なる交流人口の拡大と定住促進を図り、地域の活性化を進めていきたい。